

【中部地区】

(1)実施日	平成 26 年 10 月 25 日(土)
(2)実施場所	藤前干潟 (藤前活動センター：名古屋市港区藤前 2 丁目 202 番地)
(3)参加者	28 名 (参加総数 1,928 名)
(4)協力	NPO 法人 藤前干潟を守る会、環境省 名古屋自然保護官事務所
(5)活動内容	オリエンテーション・作業説明の後、「藤前干潟」藤前地区堤防下の清掃活動を実施。⇒ 収集したゴミの量は 45ℓのゴミ袋で 1,681 袋
収集塵	ガラス、ビン、缶、ペットボトル、使い捨てライター、釣針・釣糸、ルアー、注射器、等々
(6)スケジュール	08:30 名古屋駅前から貸し切りバスで出発 09:15 ラムサール条約 藤前活動センター到着 バスは名古屋市ゴミ焼却施設「南陽工場」駐車場に駐車 09:30 「藤前干潟クリーン大作戦」受付 09:55 オリエンテーション ・清掃区域、ゴミ分別についての説明 10:00 藤前地区堤防下の清掃活動 10:50 清掃活動終了、塵分別・収集 11:00 名古屋市ゴミ焼却施設「南陽工場」の見学 11:35 ナガシマスパーランドに向け、バス出発 12:05 ナガシマスパーランド「湯あみの島」到着 13:15～ 昼食 15:15 ナガシマスパーランド出発 16:10 名古屋駅前到着、解散
(7)参加の感想	①前日迄のぐずついた空から、真っ青な晴天の中、絶好の清掃日和であった。気温も大して上がらず、無理なく清掃活動をすることができた。 ②昨年に引き続き 2 回連続参加の会員が約半数を占めた。 JATA の「外来種駆除等環境保全活動」が国連生物多様性の 10 年日本委員会 (UNDB-J) による連携事業として正式に認定されたことを紹介、今年初めての参加者から次回も参加したいとの声が上がった。 ③台風の影響で今年はかなりごみの量が多く感じた。清掃後の「湯あみの島」での昼食とお風呂は、日頃の煩わしさを癒し、疲れを流してくれました。 ④干潟に生息する動植物を絶やささないよう、自然環境を保全していく活動は継続した取り組みが重要であると痛感した。 ⑤色々な企業・団体が多数参加しているので、同業者の人的交流のみならず、親子の触れ合いの場、異業種間交流の場としても有意義な機会である。
(8) その他情報	本年は藤前活動センターに隣接する名古屋市のゴミ焼却施設を見学することができました。この施設は津波の際の避難施設にも指定されております。本日収集した可燃ごみは、全てこちらの施設へ持ち込まれました。

